

## 令和2年度事業計画

京都府内に存する埋蔵文化財の調査、研究、保存、活用を行い、文化財の保護を図るとともに、文化財保護の普及啓発に努め、地域文化の発展に寄与することを目的に以下の諸事業を実施する。

令和2年度の事業計画は、次のとおりである。ただし、新型コロナウイルスの感染予防等により、事業の一部変更などがある場合も想定される。

### 1 発掘調査受託事業

国・京都府等が実施する公共事業に伴う埋蔵文化財発掘調査を受託する。令和元2年度は、17件の発掘調査（道路建設関係14件、施設建設関係2件、ほ場整備関係1件）及び5件の整理報告を併せ1,096,023千円の事業とする。なお、当調査研究センター設立40周年記念事業を含む普及啓発事業の一部は、京都府教育委員会からの委託事業として実施するので（平成29年度から継続）、これを加えると受託事業の総額は、1,100,114千円となる。

主要な事業として、平成24年度から実施している新名神事業及びその関連事業がある。特に、数多くの古墳と奈良時代の掘立柱建物跡を検出している城陽市芝山遺跡や縄文時代後晩期の流路や中世の島畑を良好な状況で検出した城陽市小樋尻遺跡や下水主遺跡などにおいて調査を継続する。また、後期旧石器時代の石器が数多く出土した福知山市稚児野遺跡の調査を実施するとともに、弥生時代の集落遺跡である八幡市美濃山遺跡や文化庁移転に伴い調査を実施した平安京跡、中世寺院の礎石建物跡を良好な状態で確認した舞鶴市満願寺跡などについて整理報告を実施する予定である。

なお、発掘調査の結果は、遺跡調査報告集第181冊～183冊として刊行する。

### 2 普及啓発事業

令和2年度は、当調査研究センター設立40周年の節目をむかえる。そのため、記念事業として展覧会や講演会を実施するとともに、令和3年度には、5年毎に刊行している『埋蔵文化財論集』と記念誌、『40年のあゆみ』の刊行準備を行う予定である。

なお、設立40周年記念展覧会・講演会及び「埋蔵文化財セミナー」「埋蔵文化財リーフレット」等は、京都府からの委託事業として実施する予定である。

一方、従来から実施している全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿ブロック「関西考古学の日」関係事業や共同研究等への取り組みは、継続して実施する。

#### (1) 設立40周年記念事業

○設立40周年記念展覧会（京都府教育委員会委託事業）

「動乱の世から太平の世へ 一変わりゆく人々のくらし」

会 場：京都府京都文化博物館

会 期：令和2年12月12日から令和3年1月31日まで

概 要：戦国時代末期から近世にかけての京都府内の遺跡や遺物を取り

上げて人々の暮らしのようすを紹介し、同時代のさまざまな遺物の展示を通じて、同時代に育まれた文化や風習が、今日まで受け継がれていることを明らかにする。

○設立 40 周年記念講演会（京都府教育委員会委託事業）

- ・会 場：京都駅周辺
- ・日 時：令和 2 年 12 月 6 日(日)午後
- ・概 要：戦国時代末期から近世にかけての歴史的背景とともに、京都府内の遺跡や遺物を取り上げて人々の暮らしのようすを分かりやすく解説する。
- ・基調講演：「動乱から太平へ」（仮）  
講 師： 藤井 讓治 京都大学名誉教授
- ・事例報告：「動乱期の京のまち」（仮）  
講 師：外部講師・センター職員

(2) 埋蔵文化財セミナー（京都府教育委員会委託事業）

埋蔵文化財セミナーは、発掘調査成果の発表を通じて京都府の歴史の解明と文化財の保護に寄与するために年 2 回開催する。

第 1 回は、7 月下旬

第 2 回は、令和 3 年 2 月上旬

※テーマ、会場、講師などは未定である。

(3) 機関誌

当調査研究センター及び府内関係機関等の発掘調査状況の速報や当面する埋蔵文化財の調査、研究及び保護に資するために『京都府埋蔵文化財情報』を年 2 回刊行する（第 138・139 号）。

(4) 埋蔵文化財リーフレット（京都府教育委員会委託事業）

『もっと知りたい京都の遺跡』と題して、府内の発掘調査の成果を発信するリーフレットを年 2 回発行する。（第 7 号、第 8 号）

- ・ A 3 版、二つ折り、カラー刷り

(5) 出前講座・体験授業等

京都府教育委員会、各教育局、市町村及び府内小・中学校と連携して、出前講座や発掘調査体験授業、夏休み考古学体験講座「勾玉をつくろう！」（京都府教育委員会委託事業）を通して積極的な文化財保護の啓発を行う。あわせて、ホームページで啓発事業の活動報告を行う。

(6) 「関西考古学の日 2020」関連事業

全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿ブロックの加盟 12 法人が各種イベントを開催する「関西考古学の日」に関連して、当調査研究センターにおいても京都の歴史を紹介する講座を開講する予定である。

(7) 「向日市まつり」での考古学体験ブース（京都府教育委員会委託事業）

京都向日町競輪場において開催される「向日市まつり」において考古学が体験できるブースを運営する。

(8) **共同研究**

当調査研究センターにとって必要な調査研究を原則複数の職員が共同で行い、その研究成果を『京都府埋蔵文化財情報』に公表して、京都府における埋蔵文化財の保存と活用に資する。

**3 その他**

(1) **専門研修**

文化庁主催の講習会をはじめ全国埋蔵文化財法人連絡協議会研修会や同協議会近畿ブロックが主催する研修会などに参加する。また、独立行政法人奈良文化財研究所による専門研修にも参加し、職員の資質向上に取りくむ。また、公益財団法人公益法人協会が主催する会計セミナー等にも参加する。

(2) **一般研修**

人権研修推進委員会が中心となっておこなう職場研修のほか、京都府教育庁行政、人権問題研修や公益財団法人世界人権問題研究センター開催の人権大学講座にも積極的に参加する。

(3) **遺跡検討会**

大きな調査成果をあげ、報告書刊行に向けて整理作業が進む平安京跡、満願寺跡について、職員とともに理事及び関係機関の協力を得て、遺構・遺物の検討を行い、刊行予定の報告書に検討内容を反映させる。

(4) **講師派遣**

京都府立大学からの講師派遣依頼により、集中講義「地域考古学Ⅰ・Ⅱ、京都の歴史遺産Ⅰ・Ⅱ」を行い、土曜日に職員を交代で派遣する予定である。